

大阪府行動援護従業者養成研修（2024年度）

日時	時間数	科目	内容	
事前オンライン学習 視聴期間 約1週間	1.5	強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義	強度行動障害の理解	行動障害がある人の豊かな世界
				行動障害について知る
				行動障害について知る
				強度行動障害支援者養成研修カリキュラムの改訂
				自閉スペクトラム症とは
				自閉スペクトラム症の特性 知的能力障害/精神障害
	5	強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	研修の意義	障害者虐待防止法とは
				行動障害と虐待 虐待をしない・させないために
			支援のアイデア	支援者のための構造化のアイデア
				表出性コミュニケーションについて考える コミュニケーションを学ぶ力と合理的配慮
	チームプレイの基本	チームプレイの必要性		
		支援の計画と記録の重要性		
	3	強度行動障害がある者へのチーム支援に関する講義	支援を組み立てるための基本	強度行動障害の理解
				障害特性の理解
				支援のアイデア
			組織的なアプローチ	基本的な情報収集
行動の生じる理由と対応				
チームプレイの基本				
0.5	強度行動障害と生活の組立てに関する講義	実践報告	組織的なアプローチの重要性 支援者ケアの大切さ	
			チームによる支援の実際	
集合研修1日目	9:00～9:10	10分	開講式	研修の進め方・受講に関する注意点・テキスト配布
	9:10～10:40	1.5	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習（前半）	強度行動障害の理解 困っていることの体験
	10:40～11:40	1	基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習	基本的な情報収集 基本的な情報収集 基本的な情報収集 アセスメントの大切さ アセスメントの具体的な方法 インフォーマルアセスメント
	13:00～14:30	1.5	行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	特性の分析 特性の把握と適切な対応
	14:30～16:00	1.5	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習（後半）	チームプレイの基本 支援手順書に基づく支援の体験
	集合研修2日目	9:00～12:00	3	障害特性の理解とアセスメントに関する演習
13:00～16:00		3	環境調整による強度行動障害の支援に関する演習	手順書の作成 アセスメントに基づく支援手順書の作成
16:00～17:30		1.5	記録に基づく支援の評価に関する演習	記録の方法 記録の分析と支援手順書の修正
17:30～18:30		1	危機対応と虐待防止に関する演習	関係機関との連携 強度行動障害と医学的な診断 強度行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療・教育・家庭との連携 関係機関(医療機関等)との連携方法
18:30～18:40		0.5	閉講式	研修のまとめ